

「地球温暖化防止に貢献する森林県連合 共同アピール」

1 私たちは、県土の多くを森林が占める中、森林の保全やその担い手である山村の活性化に、相当な努力を払ってきたが、一方で山村に多くの社会資本を投入することは、効率性等の観点から問題があるとの指摘もあった。

しかしながら、現在、地球温暖化防止条約・京都議定書が批准され、二酸化炭素（CO₂）吸収源として森林の果たす役割が大きな注目を浴びている。

今や、森林は、森林を抱える地域のためだけではなく、我が国全体、地球全体にとって大きな意味がある地球的な資産であり、森林を抱える地域は、森林を通じて地球温暖化防止に貢献していく必要がある。

地球温暖化防止に向け、日本の森林が果たせる役割を都市と地方が互いに認め合うことは、都市と地方の共感に満ちた新たな関係を生み出すことになり、これは都市と地方の関係の構造改革となる。

2 このようなことから、私たちは、国が地球温暖化防止に向けて抜本的な対策を打ち出すに当たっては、以下のような複合的な視点に立って、取り組まれることを強く期待する。

○京都議定書上、二酸化炭素（CO₂）吸収源としてカウントされる森林を増やし、地球温暖化防止に貢献するため、森林の整備・保全を国家的課題として積極的に進めること。

○地球環境の保全を重視する森林を公共財として積極的に「環境林」として位置づけ、次世代を見据え多くの国民の参加を得ながら、多様で豊かな自然環境の再生・保全や野生生物との共生を目指した里山づくり、森林づくりを行うこと。

○継続的な森林の整備・保全を通じて雇用を生み出し、地域の活性化につなげること。

○森林と木材の循環利用をすすめ、二酸化炭素の長期吸収固定化を図ること。

○地球温暖化防止への山村地域の貢献について、都市住民の理解を醸成するとともに、自然環境を活かしたエコツーリズムの促進、山村を都市住民の新しいふるさととすることなどを通じて、都市と山村とのシンパシー（共感）を生み出し、自然環境を媒介とした都市と山村の協調的発展を目指すこと。

平成14年6月19日

和歌山県知事	木村 良樹	岩手県知事	増田 寛也
岐阜県知事	梶原 拓	三重県知事	北川 正恭
高知県知事	橋本大二郎		
北海道知事	堀 達也	秋田県知事	寺田 典城
山形県知事	高橋 和雄	茨城県知事	橋本 昌
栃木県知事	福田 昭夫	新潟県知事	平山 征夫
富山県知事	中沖 豊	愛知県知事	神田 真秋
京都府知事	山田 啓二	大阪府知事	太田 房江
兵庫県知事	井戸 敏三	奈良県知事	柿本 善也
鳥取県知事	片山 善博	広島県知事	藤田 雄山
愛媛県知事	加戸 守行	佐賀県知事	井本 勇
熊本県知事	瀬谷 義子	宮崎県知事	松形 祐堯

※ 7月までに東京都、大分県を除く残余の各知事から賛同の意志表示が行われ、45知事賛同となっている。